



EMBAJADA  
DE ESPAÑA

OFICINA ECONÓMICA Y  
COMERCIAL DE ESPAÑA

TOKIO

# 2021年 スペイン出版業界レポート

スペイン書籍出版連盟

2023年3月



# 要 旨

## 国内市場

**2021年の売上高:** スペインの出版業界全体の売上高は前年比 5.6% 増加し、今世紀に入って最大の売上高増加率を記録した(25 億 7670 万ユーロ)。

**出版形態:** 紙媒体の書籍の売上の増加が大きく、1 億 7410 万冊を売り上げて、前年比 5.9%の増加。

**出版タイトル数:** 7 万 9373 作品が出版され、前年比で約 6.4%の増加。うち、紙媒体が 5 万 5197 タイトル(8.9%増)、電子媒体は 2 万 4176 タイトル(1.2%増)。

**ジャンル別:** すべてのジャンルにおいて前年比で売上は伸びているが、今まで売上の重要な割合を占めていた教科書が減少、逆に児童書・青少年向け書籍が一番大きい成長率を記録した。

**販路:** 書店と書店チェーンが主要販路。総売上高の半分以上を上回る(53.8%)。インターネットでの購入は国民全体で第2位に定着してきており、特に若年層(25 歳から 34 歳)では第1位の販路になっている。

## 輸 出

**輸出総額:** 2021年の書籍輸出総額は3億8890万9千ユーロ。

2018年に大幅な増加(6億1540万5千ユーロ)を記録した後、2019年に輸出は急落し(5億2996万7千ユーロ)、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックを受けて、世界中の貿易がほぼ完全に麻痺した状態が3か月も続く異常な年であった2020年はさらに悪化した。2021年はまだ回復していない。

**主要市場:** 輸出先国第一位は米国、続いて欧州連合(EU)。北米と視点を広げるならば、ここ数年の傾向として成長が続いており(特に宗教、児童書)着目すべき市場である。

**版權販売:** 版權販売の推移に大きな変化はみられず。英語での版權販売が最も多いことにも変化はみられない。オランダ語や日本語での版權販売の増加が著しく、引き続き新しい市場を開拓する努力が求められる。

## 輸 入

**輸入総額:** 2021年の輸入総額は1億778万ユーロで、減少が顕著。中国等への印刷発注の減少が主な理由。

**貿易収支:** 輸入減少により貿易黒字が約12.84% 増の8395万ユーロ。



## 書籍の国内販売

1989年以来毎年、スペイン出版書籍連盟はスペインの書籍の国内出版・販売に関する調査を行っている。2021年のスペインの民間出版社および関連企業へのアンケートによって収集した出版・売上高データを基に、スペイン出版市場の現状や主要指標の推移・傾向を示すよう努めた。

代表的な指標はつぎの通り。

年	2020	2021	2020/2019 %	2021/2020 %
民間出版社・関連企業数	730	778	1.1	6.6
雇用（直接雇用）	12,709	12,760	-0.4	0.4
出版されたタイトル数（総数）	74,589	79,373	-9.4	6.4
紙媒体	50,698	55,197	-16.5	8.9
電子媒体	23,891	24,176	10.6	1.2
発行部数（単位：千）	181,292	198,132	-21	9.3
平均発行部数（部数/1タイトル）	3,576	3,590	-5.4	0.4
既刊タイトル（絶版を除く）	737,479	794,823	3.6	7.8
国内売上高（販売希望価格）（単位：百万€）	2,439.93	2,576.70	0.8	5.6
紙媒体売上高（単位：百万€）	2,234.94	2,432.41	0.4	8.8
電子媒体売上高（単位：百万€）	126.19	134.79	5.9	6.8
売上部数（単位：千）	164,450	174,100	1.4	5.9

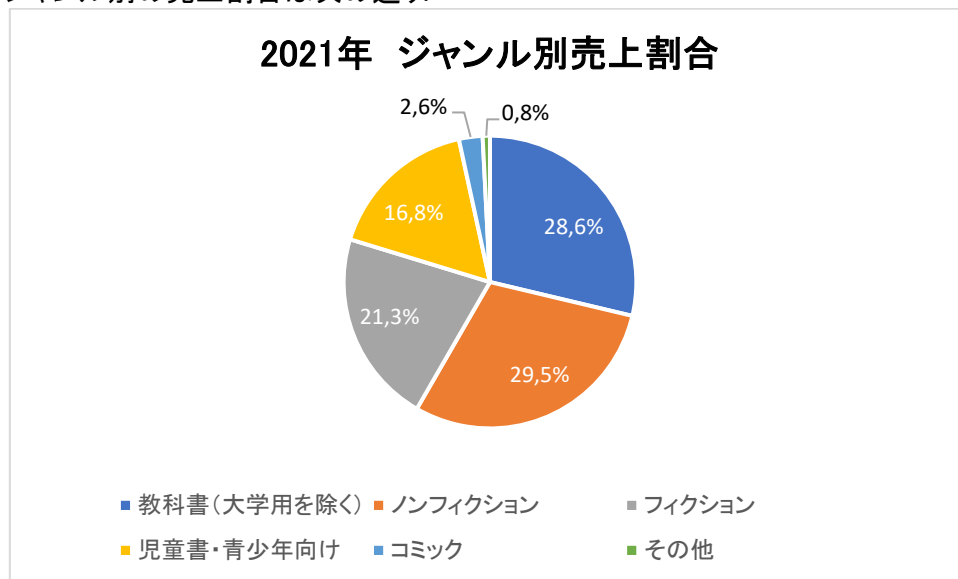
### 2021年、今世紀に入って最大の売上高増加率を記録(2020年比)

- 売上高の成長は2021年も続き、スペインの出版社全体の売上高が前年比 5.6% 増加し、25 億 7670 万ユーロに達した。これには、紙媒体の書籍の売上が大きく貢献しており、1億7410万冊を売り上げて、前年比5.9%の増加。
- 出版されたタイトル数は7万9373作品で前年比で約6.4%の増加。うち、紙媒体が5万5197タイトル(8.9%増)、電子媒体は2万4176タイトル(1.2%増)。
- 平均発行部数は昨年並み(0.4%増)で1タイトル当りの発行部数は3590冊。
- 紙媒体書籍の平均販売価格は13.97ユーロ。
- 電子書籍のダウンロード数は1349万タイトルで、前年比で1.7%増。電子書籍の売上高は増加を続け、1億3479万ユーロ(6.8%増)を記録して総売上の約5%を占める。電子媒体で出版されたタイトルも若干増加した(18万6887タイトル)。



### ジャンル別売上割合:

2021年のジャンル別の売上割合は次の通り:

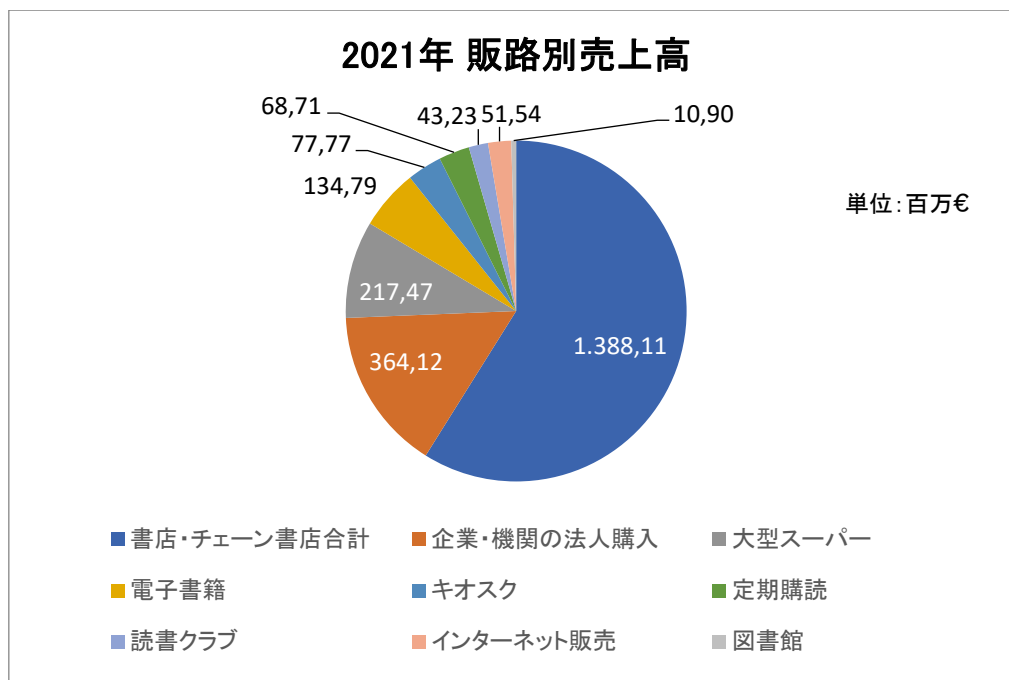


全体的にすべてのジャンルにおいて前年比で売上は伸びているが、今まで売上の重要な割合を占めていた教科書が減少、逆に児童書・青少年向け書籍が一番大きい成長率を記録した。

ジャンル	売上割合		成長率 %
	2020	2021	
教科書(大学用を除く)	31.4%	28.6%	-8.9%
ノンフィクション	29.3%	29.5%	0.7%
フィクション	20.8%	21.3%	2.4%
児童書・青少年向け	15.0%	16.8%	12.0%
コミック	2.6%	2.6%	0.0%
その他	0.8%	0.8%	0.0%



## 販路別売上高:



※書店と書店チェーンが主要販路。総売上高の半分を上回る(53.8%)。

## 前年比増減率

単位:  
100 万€

年	2020	2021	増減率%
書店・チェーン書店合計	1,292.53	1,388.11	7.4%
書店	838.94	907.72	8.2%
チェーン書店	453.59	480.39	5.9%
企業・機関の法人購入	357.34	364.12	1.9%
大型スーパー	204.47	217.47	6.4%
電子書籍	126.19	134.79	6.8%
キオスク	79.10	77.77	-1.7%
定期購読	68.49	68.71	0.3%
読書クラブ	44.16	43.23	-2.1%
インターネット販売	41.60	51.54	<b>23.9%</b>
図書館	10.59	10.90	2.9%

- 前年来、インターネット販売は成長を続けている(特に紙媒体書籍の販売において顕著)。5154万ユーロの売上高は前年比で約1000万ユーロの増加で、総売上高の中に占める割合は2%。



## スペイン書籍の貿易

スペイン書籍委員会連合 (Asociación de las Cámaras del Libro de España)は第30回書籍貿易調査を2021年の貿易活動に関して実施した。

### 2021年 貿易概要

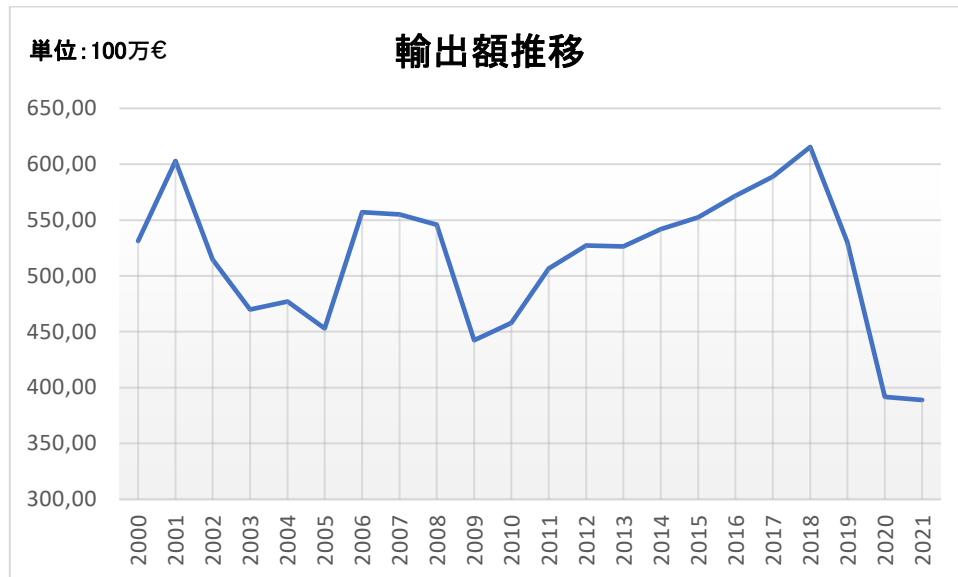
- 書籍類の輸出は微増したが、グラフィック関連製品の輸出が減少。
- 輸入に顕著な減少が見られる。中国等への印刷発注の減少がその理由であり、国内の印刷業界にとっては好機とみられる。
- 上述の結果として、貿易黒字は約12.84% 増の8395万ユーロ。
- 輸出先国第一位は米国、続いて欧州連合 (EU)。
- 書籍の輸出で米国はトップであるが、グラフィック関連製品では対EUが最も多く、メイン市場として捉えることができる。北米へと範囲を国から地域へ広げるならば、ここ数年の傾向として成長が続いており(特に宗教、児童書)、着目すべき市場である。
- 版權販売の推移に大きな変化はない。英語での版權販売が最も多いことにも変化はみられない。新しい市場を開拓する努力が求められる。
- 外国人向けスペイン語学習書の輸出は続いているが、期待されていたスペイン語を公教育の必修外国語として導入するようような政策調整がないことなどの理由により、期待したほどには伸びていない。
- ジャンル別ではフィクション、宗教関係、児童書・青少年向け、社会科学が輸出の主力。



## 輸出額推移

2021年の書籍輸出総額は3億8890万9千ユーロ。

2018年に大幅な増加(6億1540万5千ユーロ)を記録した後、2019年に輸出は急落し(5億2996万7千ユーロ)、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックを受けて、世界中の貿易がほぼ完全に麻痺した状態が3か月も続く異常な年であった2020年はさらに悪化した。2021年も回復していない。

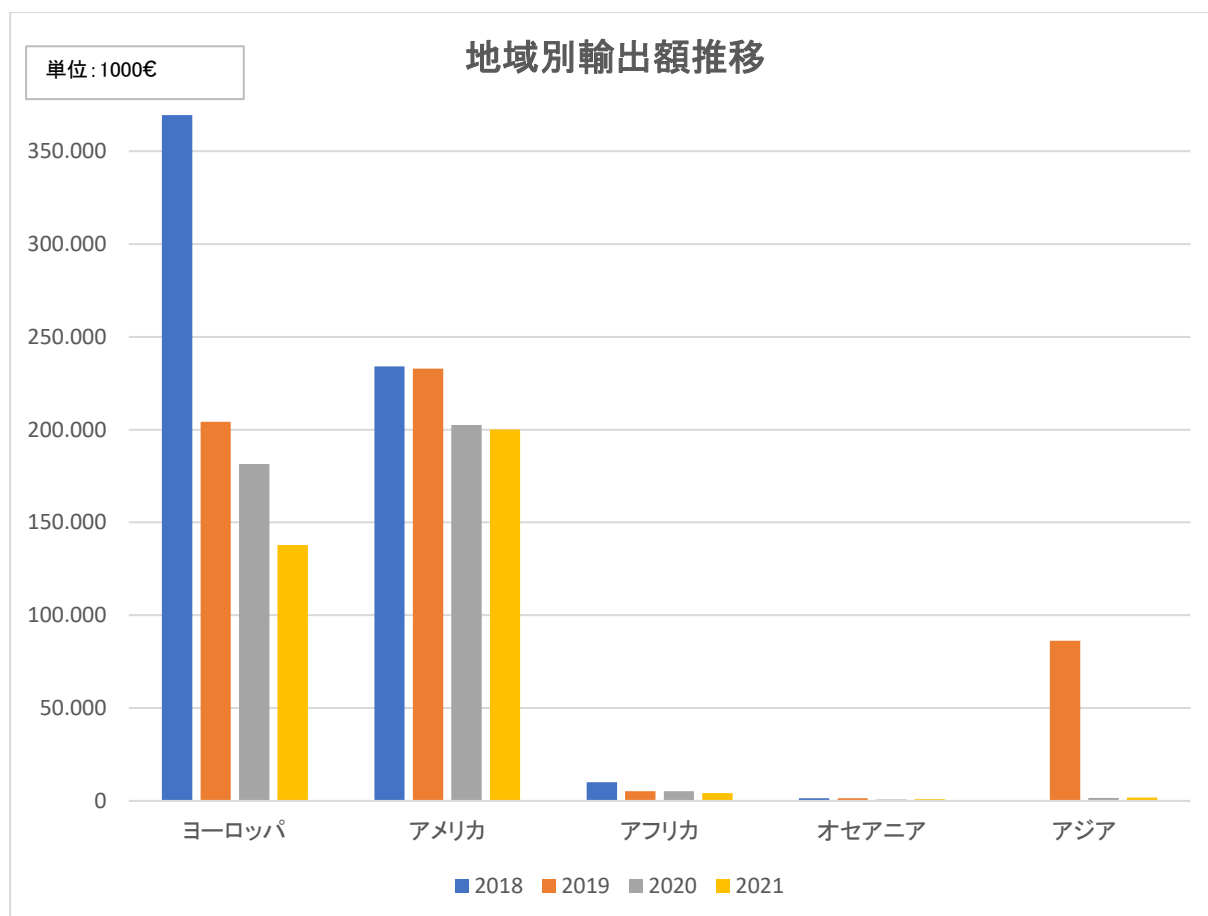


出典: FEDECALI (スペイン書籍委員会連合会カタルーニャ州、バスク州、マドリッド州部会)

年	輸出額 100万€	前年比
2011	506.54	
2012	527.34	104.1%
2013	526.48	99.8%
2014	541.77	102.9%
2015	552.37	102.0%
2016	571.77	103.5%
2017	588.86	103.0%
2018	615.41	104.5%
2019	529.97	86.1%
2020	391.76	73.9%
2021	388.91	99.3%



## 地域別輸出先推移



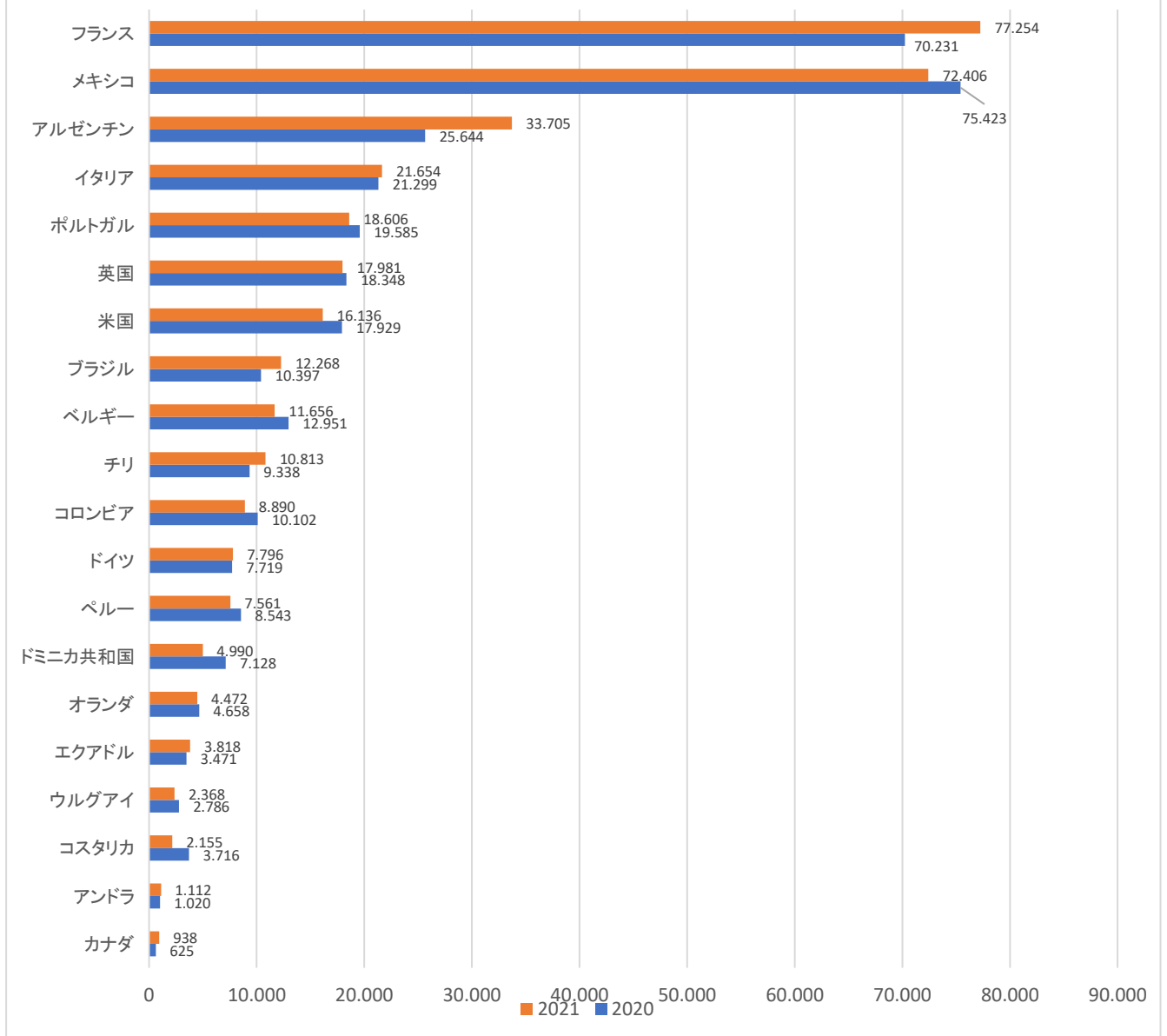
出典: FEDECALI (スペイン書籍委員会連合会カタルーニャ州、バスク州、マドリッド州部会)

- 上図のとおり、スペインにとっての最大の出版関連製品の海外市場はアメリカ大陸である。イペロアメリカ(46.84%)に米国(4.63%)を加えると、全体の51%を超える。
- EU市場が海外市場第2位で35.06%、EU域外のヨーロッパ地域では英国が主要な輸出先で11.67%(4400万ユーロ)。
- アフリカ、アジア、オセアニアはそれぞれ、1.09%、0.47%、0.24%。
- 輸出先主要国として、米国は第7位になっているが、メキシコから輸出されている書籍の一部は現地拠点を持つスペインの出版社の製品であること、スペインの出版社からの発注で中国で印刷された出版関連製品も直接米国宛に輸出されていることを考慮すると、米国は第5位の輸出先国とみなすこともできる。
- 輸出される出版関連製品とは、書籍の他に逐次刊行物(分冊百科事典、年鑑など)、キオスク製品が含まれる。





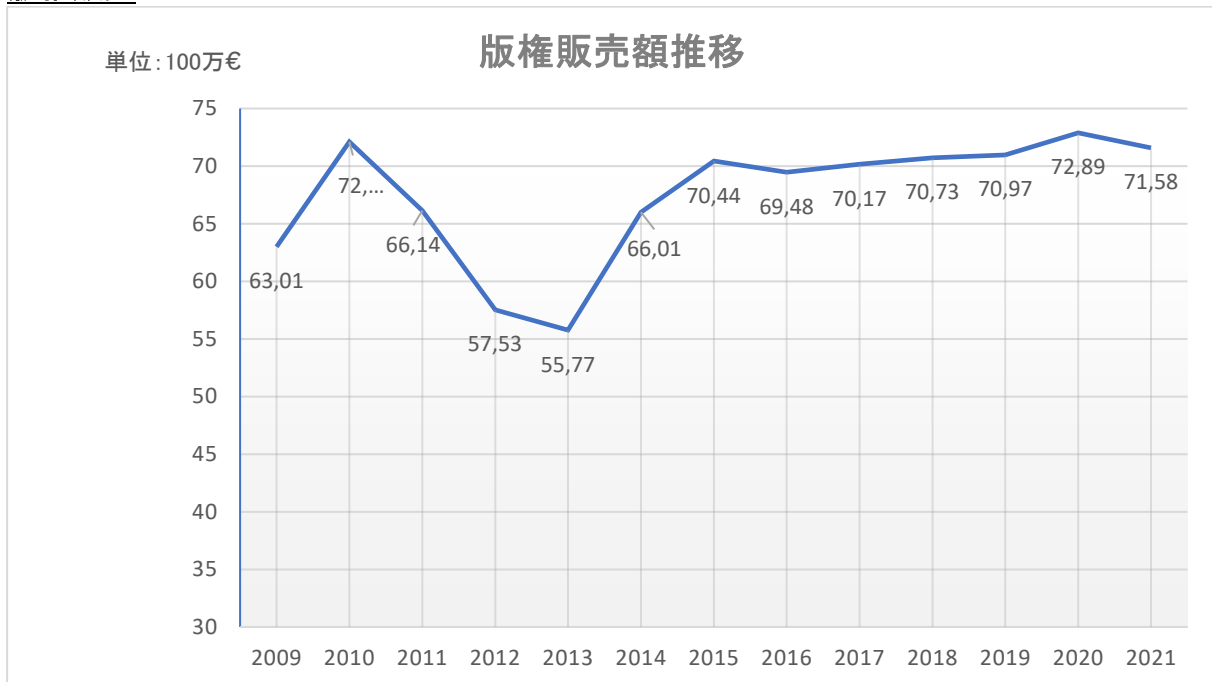
## 主な輸出先国(2021年)



出典: FEDECALI (スペイン書籍委員会連合会カタルーニャ州、バスク州、マドリッド州部会)

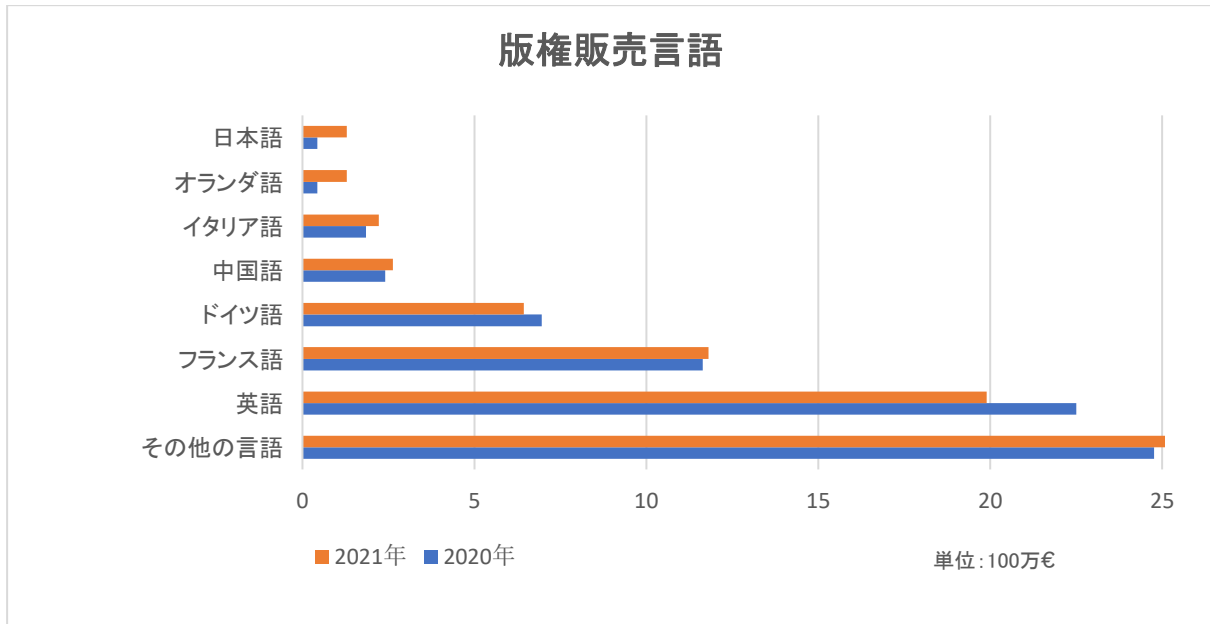


## 著作権販売



出典: FEDECALI (スペイン書籍委員会連合会カタルーニャ州、バスク州、マドリッド州部会)

※著作権販売額の推移に大きな変化はない。



出典: FEDECALI (スペイン書籍委員会連合会カタルーニャ州、バスク州、マドリッド州部会)

言語	2020年	2021年	前年比 %
その他の言語	24.77	25.98	105%
英語	22.50	19.90	88%
フランス語	11.64	11.81	101%
ドイツ語	6.96	6.44	93%
中国語	2.41	2.63	109%
イタリア語	1.85	2.22	120%
オランダ語	0.43	1.29	300%
日本語	0.43	1.29	300%

※英語の著作権販売が引き続き最も多い。しかしながら前年比での販売成長率をみると、日本語やオランダ語など新しい市場での伸びが大きい。引き続き新しい市場開拓の努力が求められる。

参考: スペイン書籍委員会連合会カタルーニャ州、バスク州、マドリッド州部会  
貿易統計(スペイン語) <https://fedecali.es/comercio-exterior-4/#cel2021>



## 読書・出版物購入に関する行動様式(2022年)

「読書・出版物購入に関する行動様式」の調査の主な目的は、調査時点におけるスペイン人の読書行動について調査し、企画・計画を策定し、評価するうえで有益な情報を得ることである。

2022年の「スペインにおける読書・出版物購入に関する行動様式の調査報告の中からポイントを抜粋する。

- 本を読むと回答したスペイン国民は68.4%、そのうち64.8%が自由時間に趣味として読書をしており(近年の増加傾向は僅かながら継続)、22.6%が仕事や勉強のために本を読む(2021年と比較して増加し、2019年以来続いていた減少傾向は止まる)。平均冊数は年10.1冊。
- 直近3か月のうちに、余暇の過ごし方として書籍またはコミックを読んだ人の割合は66.2%。そのうち毎週本を読む人の割合は53.5%で、安定している。
- 余暇に読書をする人の割合は、どの年齢層においても女性の方が男性より明らかに高い(特に25歳から34歳の年齢層において顕著)。
- 教育レベルが高いほど、趣味で読書をする割合が高い。学歴の低い層ではこの数字に若干の減少がみられた。
- 平均以上に趣味で読書をする人の比率が高い自治州は、マドリード州、カタルーニャ州、ナバラ州、バスク州、リオハ州、アラゴン州。逆に平均を下回る自治州は、バレンシア州、アストゥリアス州、バレアレス諸島、カンタブリア州、カスティージャ・イ・レオン州、ガリシア州、ムルシア州、アンダルシア州、カスティージャ・ラ・マンチャ州、カナリアス諸島、エクストレマドゥーラ州。
- 読書をしない理由として最も多かった回答が「時間がない」で、「たまに読書をする」「まったく読書をしない」と回答している人の44%が習慣的に読書をしない理由としてあげている。「読書は好きではない」「他の趣味に時間を使いたい」と回答している人の割合は3人に1人。
- 「最近読んだ本」の設問には70.6%が小説や短編小説(文芸作品)と回答している。書籍形態別ではペーパーバックが約70.6%、28.5%が文庫、18%が電子書籍だった。
- 電子書籍を読む読者数は安定している。14歳以上で3か月に1回以上電子書籍を読むと回答している人は29.5%であった。
- 電子書籍を読むためのデバイスとしては専用の電子書籍リーダーが12.9%、タブレット端末が10.3%の割合で使われているが、スマートフォンを利用する割合は増加傾向を続けている。



- 電子書籍を入手する方法として最も多かったのは無料ダウンロード(52.5%)。有料の電子書籍を購入する割合は11.4%。無料と有料を併用する人は36.1%。
- 電子書籍をダウンロードするために費用をかけない読者は66.3%で、2021年と比較して急増している。約39%はコンテンツにアクセスするために費用をかけている。
- 電子書籍を無料ダウンロードしている人にインタビューしたところ、67%がダウンロードが違法になるタイミングを理解している。しかし、5人にひとりの割合で、違法・合法の区別がついていない。
- 2021年の数字と比較して、オーディオブックの利用者に大きな変化はみられない(3か月に1度利用する人:5.4%、毎週利用する人:2.7%)。  
35歳以下の利用者の割合が明らかに高い。  
過去5年間で、オーディオブックユーザーの数は2倍以上に増加した(2018年の2.4%から2022年の5.4%)。
- 14歳以上のスペイン人の63.8%が直近12か月のあいだに何らかの本(学習用、それ以外)を購入しており、ここ5年間この割合に大きな変化はみられない。学習用書籍以外の本を購入する人の割合は引き続き増加傾向にある(52.8%)。
- 学習用以外の書籍を購入する場所として、従来通り書店が中心。次いで、インターネット購入、チェーン書店とつづく。インターネットでの購入は国民全体で第2位に定着してきており、特に若年層(25歳から34歳)では第1位の販路になっている。
- 2022年に図書館を利用した人口は26.2%。公立図書館の利用が最も高い(89.7%)。公立図書館の利用者満足度は10点満点の8.3点で評価が高い。
- 6歳以下の子供のいる家庭で読み聞かせをしている家庭は75.9%で前年と同じ。しかしながら、読み聞かせに使う時間は前年比から35分少なくなっている。  
一方で教科書以外の本を読む6歳から9歳の児童の割合は85.3%、3時間17分と増加した。
- ティーンエイジャーの間では、年齢が上がるにつれて、過去1年間に余暇に頻繁に本を読む人の割合、平均冊数の両方に顕著な減少がみられる。